

平成二十七年十月吉日

家庭に関する学科等卒業者の採用に関する要望書

全国高等学校長協会家庭部会

理事長 橘川 睦子

同 進路調査研究委員会

委員長 安西 啓雄

近年、高等学校は生徒の個性、興味・関心に応じた教育を行うことが求められており、家庭に関する学科等においては、生活産業を担うスペシャリストの育成を目指し、特に体験的な学習を重視して、実践力やコミュニケーション力、豊かな人間性を育てています。その中、就職を希望する生徒は、衣食住・保育や福祉といった人々の生活に密接に関係した学びから得た専門性を活用して、生活の質を向上させるものづくりやヒューマンサービスを通して社会に貢献したいという熱意にあふれています。そのような人間生活の基本を真摯に学ぶ若者に対して社会参加の機会を確保することは、私たちの切実な願いであります。

貴団体におかれましては、就職希望者が自らの進路実現を図ることができるよう、各都道府県下の企業との連携により、求人や採用に際して、左記の事項に特段のご高配を賜りますよう、全国高等学校長協会家庭部会の総意によってお願い申し上げます。

記

- 一 家庭に関する学科等の卒業生が希望を持って社会に踏み出せるよう、企業等における採用枠の確保・拡大。
- 二 学校家庭クラブ活動やインターンシップ等の学習成果、及び公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会主催、文部科学省後援による「被服製作技術検定」、「食物調理技術検定」、「保育技術検定」の合格者に対する評価の重視。

以上の二項目につきまして重点事項として要望いたします。